

とまこまい広域農業協同組合×北海道森林組合連合会×農林中央金庫の連携企画  
**道産木材を使用した木製しゃもじプレゼント**

道内で開催される「第44回全国育樹祭（10/9・10）」や、2021年から新たに制定される「木材利用促進月間（10月）」に合わせて、当JAで10/1～31に新米を購入（予約含む）された方を対象に抽選で200名様に、道産木材を使用した木製しゃもじをプレゼントいたします。  
 （詳細は「全国育樹祭新米キャンペーン応募はがき」をご覧ください）

地元の新米と合わせて道産木材を使用した木製しゃもじもお楽しみください!!  
 また、お米のお共に、長くご利用いただけますと幸いです。

～木製しゃもじのご紹介～

しゃもじは北海道産の「セン（広葉樹）」を使用しています。  
 主に家具や合板に使用されており、軽く軟らかく加工しやすい木材です。  
 しゃもじは白く木目がはっきりしており、滑らかな手触りとなっています。  
 ぜひ手に取って、木の温もりを感じてください!!



～ロゴマークのご紹介～



「HOKKAIDO WOOD」は道産木材製品のブランド名称です。



「JForest（森林組合）」は森林づくりと持続可能な木材生産を進めている協同組合です。道内では79森林組合と北海道森林組合連合会が活動しています。

道産木材利用の重要性



出典：「森林資源の循環利用を担う木材産業」（農林水産省）

日本は国土面積の3分の2を森林が占める世界有数の森林国です。「国土保全」「水源かん養」「地球温暖化防止」などの森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるためには、「植える→育てる→使う→植える」というサイクル（森林資源の循環利用）が重要です。

胆振東部地震の被害と復旧について

2018年9月6日発生の胆振東部地震により、安平町、厚真町、むかわ町などの山の斜面が崩壊し森林も大きなダメージを受けました。北海道庁や北海道森林組合連合会、苫小牧広域森林組合などが一体となり、被災森林の復旧と地域林業の振興に取り組んでいます。



【写真】胆振東部地震の被害を受けた森林

地材地消・地産地消のメリットとは・・・



地域で育った木材は、その地域の風土に最適な質になっています！  
 地域のとれたて新鮮な食材を味わえます！  
 地域の生産者の所得向上により地域活性化に貢献できます！

くらしに地域の木材や食材を意識的に取り入れませんか？



【写真】苫小牧広域森林組合で製作した積み木（当JAの「生ハスカップ収穫祭」で子供たちが楽しみました）



【写真】当JAの特産品（お米）（メロン）

緑の募金とは・・・

「緑の募金」とは1950年から緑豊かな国土を創り上げていくために始まった募金活動です。  
 緑の募金法に基づいて、「森林整備などの森づくり」と「子供たちへの木育活動などの人づくり」に使用されます。  
 （2020年度道内募金総額：25,291千円）



【写真】緑の募金箱

10/1～10/31  
 当JA店舗に緑の募金箱を設置中！  
 （設置店舗：厚真・穂別・白老・苫小牧・早来・追分）

皆様の温かいご協力が  
 北海道の森と緑を守ります！

【表面】



【裏面】



※株式会社津別工芸舎にて制作

(参考) プレゼントイメージ



※上記の写真は両面が分かりやすいように木製しゃもじを2本並べて撮影しておりますが、プレゼントにつきましては木製しゃもじ1本となります。